器具器械　21　内臓機能検査用器具のうち尿量モニタ

尿量モニタ

ウロフローメータ　UDS-1100　ウロキャップ

禁忌・禁止

併用医療用具[相互作用の項参照]

- 高圧酸素治療装置内での使用
- 可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用

形状・構造等

本装置は、尿流トランスデューサ、プリンタ、パワーサプライモジュールを用いて、下部尿路の物理的機能を検査診断するための装置です。

構　成

品　名	個数
尿流トランスデューサ	1
プリンタ	1
パワーサプライモジュール	1
付属品	一式
ウロフロースタンド	選択

※構成品および付属品は、単体で販売する場合があります。
※付属品の詳細は、取扱説明書をご覧ください。

性能・使用目的

使用目的

本装置は、下部尿路の物理的機能を検査診断するための装置です。尿流率、尿流量などの尿流測定を行います。

性　能

- 尿流測定
  尿流率　　測定範囲:0～50 mL/s
  排尿量　　測定範囲:0～950 mL
- 解析機能
  最大尿流率
  平均尿流率
  排尿時間
  尿流時間
  最大尿流率到達時間
  排尿量
  最大尿流率/平均尿流率/最大尿流率到達時間の正常値に対するパーセント
- ゼロ機能
  トランスデューサのオフセットを自動的にゼロ点に調節する

操作方法または使用方法等(用法・用量を含む)

詳細は別途用意されている取扱説明書を参照してください。

準備する

詳細は、取扱説明書「準備」を参照してください。

1. プリンタは平らな台の上に、トランスデューサ本体は平らな床の上に静かに置きます。
2. トランスデューサ本体の上部に皿をセットします。
3. プリンタにトランスデューサの信号ケーブルと分岐箱からのプリンタ電源コードを接続します。
4. パワーサプライモジュールからの電源ケーブルを分岐箱に接続します。
5. パワーサプライモジュールに電源コードを接続し、反対側のプラグを壁面のコンセントに接続します。このとき、トランスデューサ本体の赤ランプが点灯することを確認します。

測定する

詳細は、取扱説明書「尿流測定検査」を参照してください。

1. プリンタの電源スイッチをオンにし、赤ランプが点灯することを確認します。
2. 検査前に10分間のウォームアップを必ず行います。
3. ファネルをチェアの金属フレームに置きます。
4. 空ビーカをトランスデューサの皿の上に置きます。赤の点滅が速くなり、ゼロセットを自動的に行います。緑ランプが点灯し、プリンタが「Ready」を印字し、データを記録する準備が完了します。
5. ファネルの先端がビーカの中心になるようトランスデューサ本体の設置位置を調節します。
6. 患者に尿がファネルに入るよう排尿を指示します。
7. 排尿の開始が検出されるとプリンタが動作します。
8. 排尿の終了が検出されると、プリンタが停止します。
9. トランスデューサの赤ランプが点灯し、プリンタが「Ready」を印字したのち、トランスデューサの緑ランプが再度点灯すると、ビーカーがあふれなければ、そのまま継続測定できます。ビーカーがあふれそうなときは、交換してください。

レポートへの記入

レポートの罫線部分に手書きで必要事項を記入します。

- 患者名、医師名、診療所など
- 該当する患者の性別（男、女）および測定状態（座位、立位）などを〇で囲みます。

使用上の注意

重要な基本的注意

- 本装置の使用は、医師または臨床検査技師などの資格を有する専門家に限られます。
- 電源コードは必ず、付属品の3ピンプラグ付き電源コードを使用してください。[他の電源コードを使用した場合、患者および操作者が電撃を受けることがあります。]
- 付属の専用ビーカー以外のものは使用しないでください。[測定誤差を生じます。]
- 検査前に必ず10分間のウォームアップが必要です。
- レポートに印字される標準尿流パラメータは、あくまでも参考値です。診断目的には使用しないでください。
- 清掃・消毒などを行う際は、装置の電源を切ってください。[電撃を受けたり、誤動作の原因となります。]

相互作用（併用禁忌・禁止：併用しないこと）

医療用具の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高圧酸素治療装置（一人用／多人数用）	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある
可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある

相互作用（併用注意：併用に注意すること）

磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）

- 患者が強い磁界と高周波磁場の中に置かれるため、装置が誤動作することがあります。

作動・動作原理

本装置で用いられている尿流測定用の 尿流トランスデューサは重量計として働き、ビーカの重さに対してゼロを取り、その後ビーカに溜まる尿の重さを排尿量としてあらわし、排尿量を時間で微分して尿流率を計算します。

貯蔵・保管方法および使用期間等

使用環境条件

温度範囲　　18～40 ℃

保守・点検に係る事項

清掃

トランスデューサの内部は、3ヶ月ごとに清掃してください。

定期点検項目

装置を正しく使用するために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。

項　目	内　　容
外　観	各部の汚れ、錆・傷の有無
	スイッチ、ツマミ類の割れやガタつきの有無
	本体の割れやガタつきの有無
記録部	記録紙は指定品を使用しているかの確認
	記録紙の搬送機能の確認
	紙切れセンサの動作確認
電源部	電源コードの破損の有無
	電源電圧の確認
安　全	漏れ電流の確認
その他	トランスデューサの校正の確認

包装単位

1台単位で梱包

製造元 ラボリーメディカル テクノロジーズ コープ
（カナダ）

輸入販売元 日本光電 日本光電工業株式会社
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
☎(03)5996-8000(代表) Fax(03)5996-8091